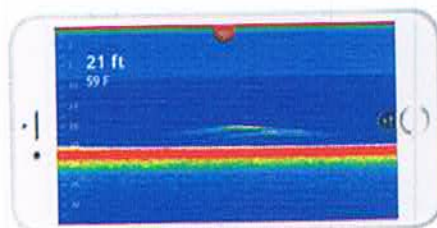


フィッシュハンター 3D / PRO

日本語解説書

LOWRANCE
FishHunter Pro
FishHunter 3D



はじめに

フィッシュハンター 3 Dは、スマートフォン（アップル/アンドロイド）やタブレットで画像を表示する世界最先端の曳航/遠投式ソナーです。

このソナーは水面を移動しながら、水温、水深、地形や魚の位置情報を送信します。特にボートで本器を曳航しながら走り回ると、そのエリアの等深線を自動作成することができます。なお、フィッシュハンターの高周波ナロービームは氷に押し当てると水中の情報を把握できるので、ワカサギ釣りのポイント選定にも最適です。

本器は内蔵する Wifi モジュールでスマートフォンと通信するため、通信会社と契約の切れたハードウェアでも有効活用できます。

各部の名称

夜間照明/充電モニターLED

充電中は赤、充電完了が緑、水を検知すると赤の点滅で表示します。

5 エLEMENT トランスジューサー

5 方向に 3 種類の超音波を発射して魚の位置を特定したり底質を認識します。

トゥイングポイント

専用クリップを取り付けて、ラインを結びます。

USB 充電端子/ウォーターセンサー

パソコンの USB 端子や AC アダプター、モバイルバッテリーなどから充電します。

専用充電ケーブルを差し込み、引き抜くことで 2 分間電源を入れることができます。テストやアプリの設定に便利です。

夜間照明/充電モニターLED
送信アンテナ



トゥイングポイント

FRONT VIEW

5 エLEMENT トランスジューサー
(381KHz, 475 KHz, 695 KHz)



USB充電端子 / ウォーターセンサー

BOTTOM VIEW

フィッシュハンターを最大限に活用するには

STEP1：ベシメトリーマッピング

気になるエリアを曳航することで、自動的に等深線が作製されます。釣りにとって重要な水深の変化を知ることが出来ます。

STEP2：3Dストラクチャーマップ

水深の変化が分かったら、底質を確認しましょう。

STEP3：キャスト方向、3Dフィッシング

有望なスポットを絞り込んだら、キャスト方向に切り替えて、どこに魚が居るかを特定しましょう。キャストしてからリトリブすると5方向に配置されたトランスジューサーが魚の存在を表示します。さらに3Dフィッシングでチェックすれば水生植物やストラクチャーもチェック可能。

STEP4：釣果記録

魚が釣れたら、ログブックに保存しましょう。ベイトやロケーションの情報が次の釣行に役立ちます。

充電について

USB 充電コードを本体底部の3Pソケットに差し込んで下さい。次に、パソコンのUSB端子やUSBソケット付きのACアダプターやモバイルバッテリーに接続して下さい。完全放電した状態から約4時間で充電完了となります。充電中はフィッシュハンター頭部のLEDランプが赤く点灯し、充電が完了すると緑になります。

アプリケーションのダウンロード

1. アップルストアまたはグーグルプレイストアより Fish Hunter PRO を検索して、ダウンロードして下さい。使用前に最低4時間の充電が必要です。
2. アプリケーションを開いてから、アカウントを作成して下さい。言語は「日本語」を選択することができます。スクリーンの指示に従って設定を完了して下さい。
3. 遠投で使用する場合はラインの先端に丈夫なリーダーを結束し、フィッシュハンターに接続して下さい。防波堤と平行に曳航してポイントを捜したり、ボートやカヤックで曳航する場合は、同梱されているロープを利用して下さい。
4. フィッシュハンターを水中に投下して下さい。
5. 水を検知すると、赤いランプがゆっくり点滅を開始します。ランプが点滅しな

い場合は充電してからお試しください。

6. スマートフォンやタブレットの Wifi 設定を開き、リストをリフレッシュしてから“FishHunter Wi-Fi XXX”を選択して下さい。リスト上に認識されるまで1分以上掛かる場合があります。
7. “FishHunter Wi-Fi”に似接続されると、接続されたメッセージが表示されます。周囲に Wifi 似接続されたスマートフォンやタブレットがあると誤動作を起こす場合があります。それらの設定は解除して下さい。
8. 接続が確認できたら、アプリを開いて“Sonar”セクションに進んで下さい。
9. フィッシュハンターが起動し、スマートフォンに接続されると、下記のオプションが選択できます。

Directional Casting

Bottom Mapping

3D Contour

Bathymetric Mapping

Ice Fishing Flasher

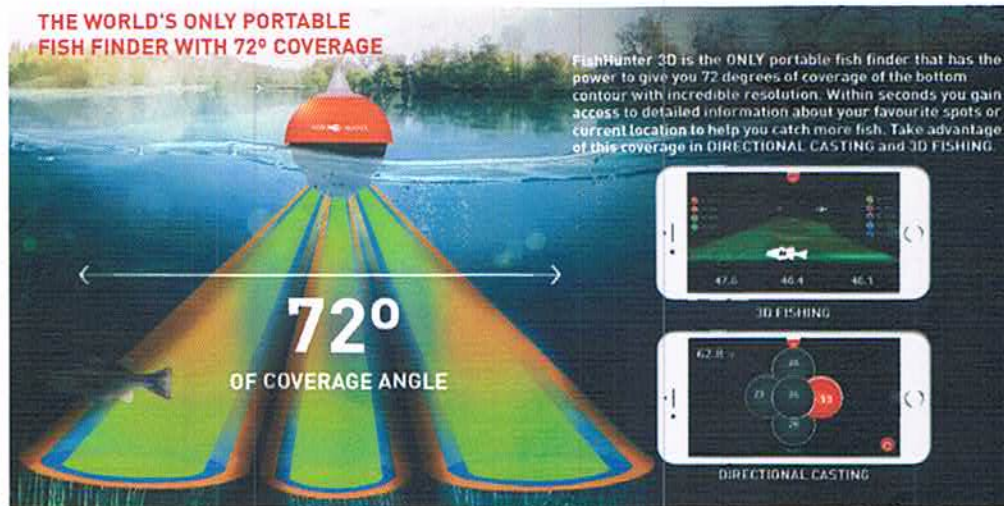
Switch Device

10. ゆっくり点滅する赤いLEDは、データの送信を開始すると早い点滅に切り替わります。フィッシュハンターは水から引き上げると自動的に電源が切れますがランプが点滅を続ける場合は、充電端子に塩の結晶を生じている場合や導電性の汚れが原因なので、清掃して下さい。

なお、本器は充電コードを差し込むと起動し、60秒後に自動的に電源が切れて全ての設定はリセットされます。

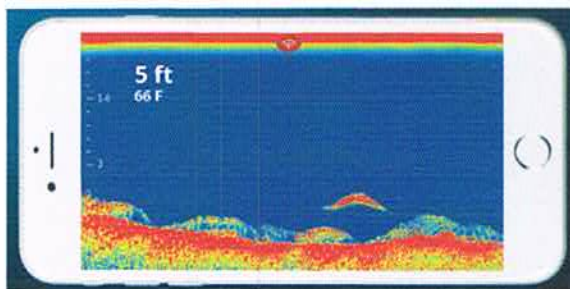
通信可能な距離は、アンテナの放射パターンに依存するので、スマートフォンの位置が高い程、距離が伸びます。





フィッシュハンターは3種類の周波数と5方向のビームで魚の位置や地形を認識します。

シャローウォーターモード



うにパワースライダーで出力をコントロールして下さい。

シャローウォーターモードを選択すると水深 40cm まで表示することができます。

再度メニューのレンジ設定から「シャローウォーター」を選択して下さい。次に、鮮明な画像を表示するよう

DIRECTIONAL CASTING (キャスト方向)

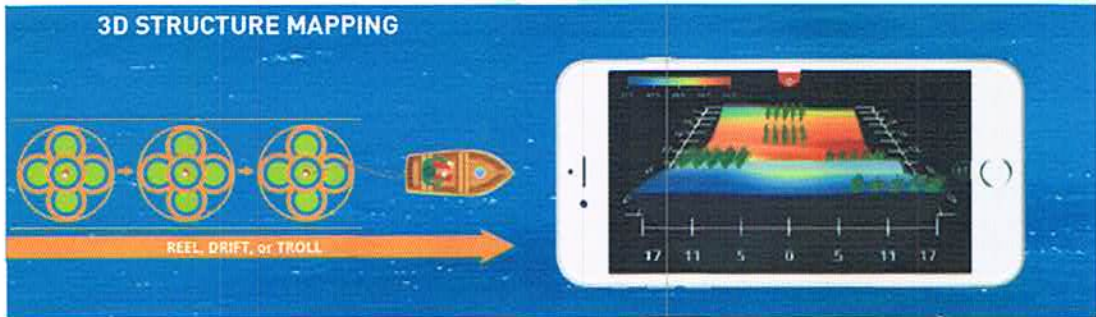


フィッシュハンターをキャストしてから手前にリトリブすると、魚の存在を認識したとき、どの方向のビームが反応しているかを知らせます。左の図では右方向、水深 13 フィート (約 3.9m) に反応があるので、ルアーをキャストするときの目安になります。

3D ストラクチャーマッピング

釣りにとって地形の変化や水生植物の繁茂状態を知ることは大切です。

3D ストラクチャーマッピングは、リーリングや潮流によるスキャンで底の状態を把握するモードです。



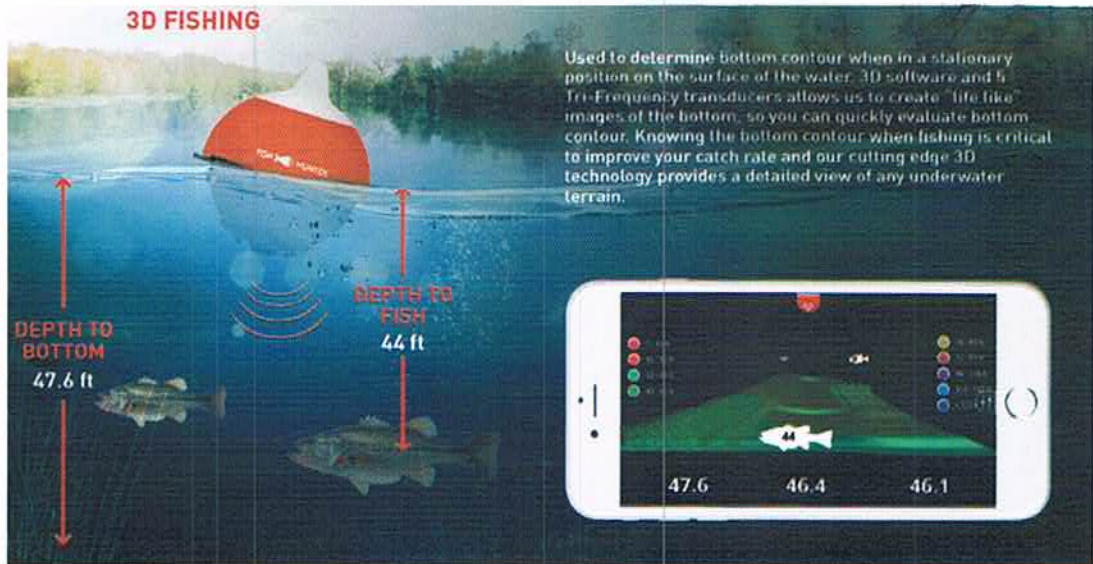
ハンブやブレイクライン、チャンネルなどの存在が分かるため、ヘラブナ釣り、鯉釣り等の釣り座を選定するときにも役立ちます。

3D フィッシング

このモードは5方向のセンサーと3種類の周波数を駆使して、具体的に魚の存在と場所を示すもので、ルアーフィッシングには最も有効なモードとなります。

先ず、狙ったポイントにフィッシュハンターを通して魚の水深と方向を見極めます。

この情報に基づいて、実際にルアーをキャストするとき、深度と方向を調整します。



ベシメトリーマッピング（精密等深線）

お気に入りのスポットでアンカーを投入する前に、全体の地形を把握してベストポジションで釣りをしたいものです。方向のトランスジューサーとスマホのGPS機能によりボートで曳航しながらポイント周辺を走り回るだけで簡単に精密な等深線を作製できます。また、このマップを保存しておけば次回の釣行で役立ちます。



アイスフィッシング/フラッシャー

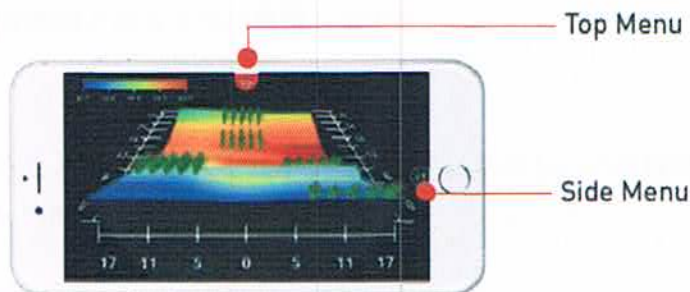
フィッシュハンターの超高周波ビーム 475/695Khz は、ワカサギ釣りなどの氷上釣りで、氷に穴を開ける前に氷上に押し当てるだけで魚群の回遊方向を確認することができます。氷上の雪を取り払ってフィッシュハンターを押しつけて下さい。5方向のセンサーの反応を見ながら最も活性のあるポイントを選択して釣り座を決定して下さい。



メニューと各種設定

フィッシュハンターのアプリではトップメニューとサイドメニューが表示されます。これらのメニューは画面上のスモールスライダーにタッチすることで呼び出せます。なお、トップメニュー左上の X マークは、iOS のみビューオプションに戻すことができます。アンドロイドではバックボタンを利用して下さい。

トップメニューオプションでは、単位を切り替えたり、スケールの表示、リアルデータかフィッシュビューを選択できます。良いポイントを見つけたら、「ドロップピン」でGPSの座標を保存して下さい。また、表示された画像は「スクリーンショット」で保存できます。



TOP MENU OPTIONS



サイドメニューオプション

シャローモード

水深が 40cm から 5m の範囲で使用される場合、このモードを選択すると最も良好なデータを取得できます。

オートレンジ

フィッシュハンターをキャストすると着水時から水深を取得するまでに一定の時間を要します。「オートレンジ」にセットしておけば、あらゆる場面で自動的に最適な設定を行います。

サーフェスフィルター/シックネススライダー

表層ノイズは初期設定値で中央にセットしてあります。大雨の後など水面付近の乱反射が強いときはサーフェスフィルターを強めにセットして下さい。ただし、大きな数値をセットすると、トップウォーターの魚が見えにくくなりますのでご注意